

2021年 6月18日

 帝都自動車交通株式会社

＜新型コロナウイルス感染症対策強化＞ 帝都グループタクシー737台に飛沫防止シールド導入 2021年6月14日(月)～順次導入

帝都自動車交通(本社:東京都中央区、代表取締役社長:篠崎 敦)では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた更なる対策の強化として、6月14日(月)より帝都グループタクシー737台に新型の飛沫防止シールドを順次導入し、7月中旬に設置を完了する予定です。



新型の飛沫感染防止シールド



従来の透明ビニールカーテン

当社では、これまでもお客様に安心してご乗車していただくために、車内に飛沫感染防止のための透明ビニールカーテンの設置、車両の消毒・除菌を徹底し、乗務員のマスク着用、乗務前及び乗務後の体温計測による健康状態の確認等を行い新型コロナウイルス等の感染症防止対策に取り組み運行してまいりました。一方で、お客様より車内の透明ビニールカーテンは乗務員の声が聞き取りにくい等のご意見をいただくケースもありました。

今般導入する新型の飛沫防止シールドは、三和交通が開発した「防犯衛生シールド(防衛シールド)」で、運転席と助手席、後部座席を仕切りパネルで区切り、従来の透明カーテンよりも乗務員の声がお客様に届きやすい構造になっております。

帝都自動車交通は、今後ともお客様の利便性とサービス向上に努めてまいります。

以上